



かけはし

Vol.119

2018年度

No.2

【ホームページアドレス】 <http://www.akunehp.com/>

当院は、地域医療の中核施設として人を大切にし、信頼される医療を目指します。



◆基本方針

1. 満足度の高い急性期高度医療の提供を目指します。
2. 十分な「説明と同意」による納得ある医療を心掛けます。
3. 「かかりつけ医」との密接な連携による医療を行います。
4. たゆまぬ学習と向上心による、より良い医療を目指します。
5. 公正で健全な運営を行います。

CONTENTS

| | |
|--------------------------|-------------------------------|
| *消防訓練を終えて……………1 | *新人紹介……………6 |
| *患者さんの権利と責務……………1 | *8、9月の出水郡医師会 日曜祭日当番医……………7 |
| *食中毒予防のポイント……………2 | *病院ボランティア募集……………7 |
| *健康フェスタのお知らせ……………2 | *医療機能情報提供について……………7 |
| *平成29年度外来患者満足度調査結果報告…3～4 | *お知らせ……………7 |
| *リハビリの窓……………5 | *編集後記……………7 |
| *外来診察表……………6 | |

広報誌「かけはし」は、当院のホームページでもご覧になれます。

消防訓練を終えて

当院では年2回の消防訓練を行っており、6月22日(金)に今年1回目の消防訓練を実施しました。今回の訓練目標は「災害を想定した消防訓練を実施する事で、病院関係者の危機管理能力の向上を図り、初期消火を火災現場で効率的に安全に実施することが出来る」としました。

訓練想定は職員が少ない夜勤帯を設定し、6月22日(金)5時に6階病棟の煙感知機が反応し鳴動。看護師が火災現場を確認し、初期消火の実施。6階デイルームへ患者を一時避難誘導。避難終了後、管理者への報告までを実施しました。昨年度の1回目の消防訓練で事務当直が全館放送と病棟からの電話報告、消防への通報を1人で受けており、身動きがとれなかつた為、2回目の消防訓練より事務当直が全館放送中は守衛が電話報告を受け、消防への報告をする対策を取り、今年も同様のスケジュールで行いました。今回は各部屋に誰もいないことを確認後、部屋のドアを閉めたが、何度同じ部屋を確認し時間ロスとなったため、確認後の表示方法を工夫することや、患者誘導時、車いすが

ぶつかって誘導に時間がかかった為、誘導の方法を検討する等の課題が残りました。また今年度より布担架を使用した搬送を取り入れ、事前に搬送方法や注意点を説明する事でスムーズな搬送ができました。

消防訓練のアンケート結果では「普段から独歩、護送、担送の把握を意識していく必要がある」という意見が職員からあり、危機管理の大切さを再認識したようでした。

今年度入職した新人職員が患者役を行い、応援役の声かけで安心感が得られ、スタッフの真剣に取り組む姿をみて消防訓練の大切さを感じたようでした。

新人職員は消防設備会社より消火器の使用法や注意点等の説明を受け、実際に水消火器を使用し



た訓練も行いました。

今回の訓練での課題や反省点を次回に活かして、2回目の消防訓練も速やかな対応ができるように、取り組んでいきたいと思います。

(文責：山平)

患者さんの権利と責務

～出水郡医師会広域医療センターは患者さんの権利を尊重します～

- 1.だれでもが良質で安全な医療を受ける権利があります。
- 2.人としての尊厳は、全ての医療において尊重されます。
- 3.医療上の全ての個人情報保護されます。
- 4.検査や治療、薬の内容等については、十分な情報提供と説明を受けて、理解と同意に基づいた医療を受ける権利があります。
- 5.診療録等の内容については、本院の規則に基づき、情報開示を受ける権利があります。
- 6.自らの健康に関する情報は、医療提供者に早く、正確に伝える責務があります。
- 7.病院の諸規則を守り、他の方の療養や職員の業務に支障を来さないように配慮する責務があります。
- 8.他の医師や第三者の意見を聞き、納得した医療を受ける権利(セカンドオピニオン)があります。

食中毒予防のポイント

気温、湿度の上昇とともに、食中毒が多発する時期です。

食中毒菌を「**付けない、増やさない、やっつける**」を実践して、家庭でも食中毒を予防しましょう!

(1) 菌をつけない(手洗いなど)

- 帰宅時、調理前、食事前、用便後は手洗いを十分にしましょう。
- 調理中、生ものに触れた後も必ず手洗いをしましょう。
- 生肉・魚調理後の包丁、まな板などは十分に洗浄・消毒しましょう。

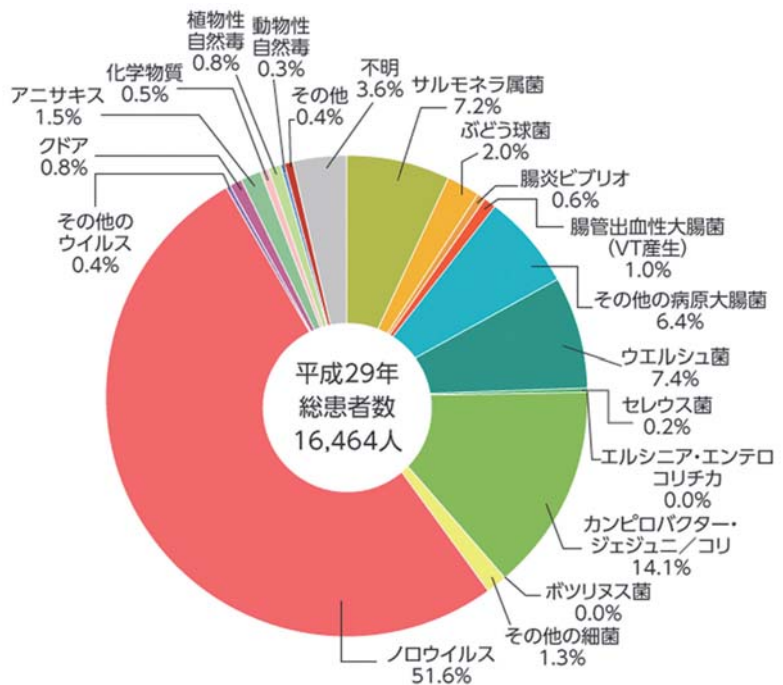
(2) 増やさない、やっつける(食品の購入・保存・調理・食事)

- 冷凍食品、生鮮食品購入後は出来るだけ早く帰宅し、すぐに冷凍庫・冷蔵庫に保存する。
- 食品は十分に加熱して食べましょう。
- 食肉を生で食べる事は控えましょう。
- 調理後は2時間以内を目安として早めに食べましょう。



☆夏場の食中毒の代表は?

細菌が原因となる食中毒は夏場(6月～8月)に多く発生しています。その原因となる細菌の代表的なものは、腸管出血性大腸菌(O157、O111など)やカンピロバクター、サルモネラ属菌などです。食中毒を引き起こす細菌の多くは、室温(約20℃)で活発に増殖し始め、人間や動物の体温ぐらいの温度で増殖のスピードが最も速くなります。また、細菌の多くは湿気を好むため、気温が高くなり始め、湿度も高くなる時期には、細菌による食中毒が増えます。



☆☆ 病因物質患者数発生状況(平成29年資料:厚生労働省) ☆☆ 文責:川畑

健康フェスタ

テーマ:
考えよう 自分の健康 家族の幸せ

平成30年8月19日(日) 9:00~12:00

クイズに答えて景品をゲット!

健診コーナー:

骨密度、血管年齢簡易チェック、血圧測定、ストレス簡易チェック等

体験コーナー:

老人・妊婦体験、人工模型を使用しての採血・注射体験

手術の操作体験:

手術室で実際の器具やお肉を使用して手術の模擬体験ができます。

飲食コーナー:

たこ焼き、からあげ等の販売

キッズコーナー:

バルーンアート、うちわ作成、ハイハイコーナー

ステージ:

阿久根中学校吹奏楽部による演奏、俳句・川柳、小中学生の絵画の展示及び表彰式、心臓マッサージの実演。

救急車の見学、看護協会の協力による「まちの保健室」で健康チェック、介護・福祉、栄養、薬剤等の相談も随時受付ます。

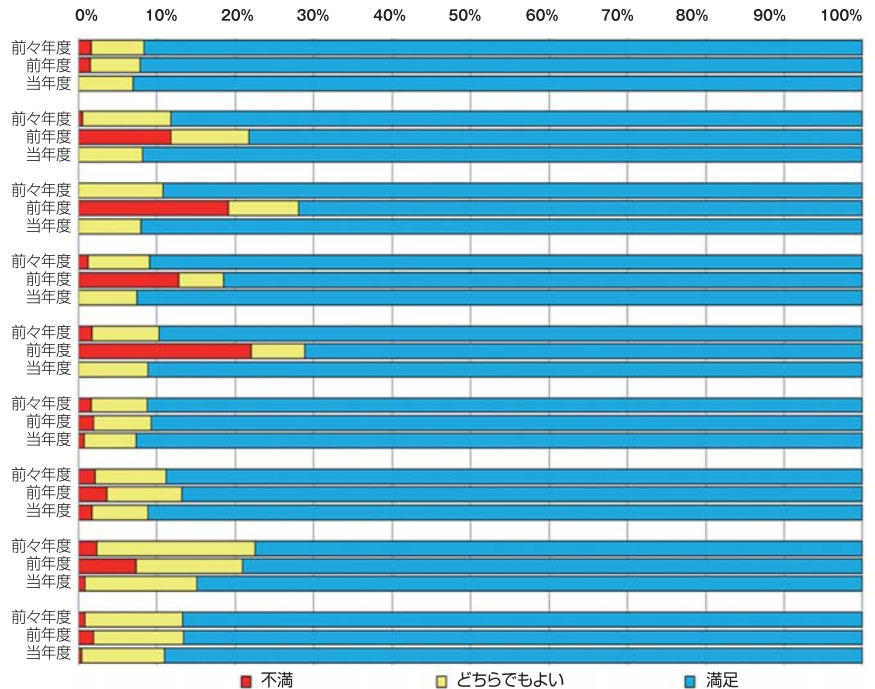
様々な催し物を計画し、皆様のご来場をお待ちしております。

平成29年度外来患者満足度調査結果報告

外来患者さん350人を対象に満足度調査を平成29年11月に実施し、回収率88.3%でした。皆様のご協力に感謝申し上げます。

職員の接遇について

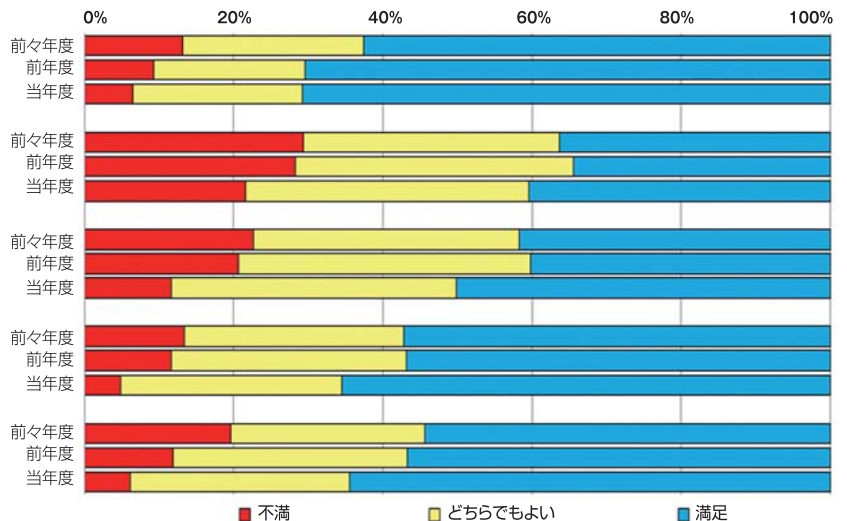
- ①事務職員の言葉遣いや態度
- ②放射線技師の言葉遣いや態度
- ③臨床検査技師の言葉遣いや態度
- ④薬剤師の言葉遣いや態度
- ⑤リハビリスタッフの言葉遣いや態度
- ⑥看護師の言葉遣いや態度
- ⑦医師の言葉遣いや態度
- ⑧プライバシーへの配慮
- ⑨職員の服装や髪型等の身だしなみ



昨年比8.9%改善の90.9%の満足度となっていました。全体的に全職種に対する満足度が改善しました。特に臨床検査科とリハビリは20%以上の改善が見られました。29年度は、リハビリ科単独での接遇改善活動や院内全体での改善活動による効果と考えます。引き続き継続して取り組みたいと考えます。

時間管理について

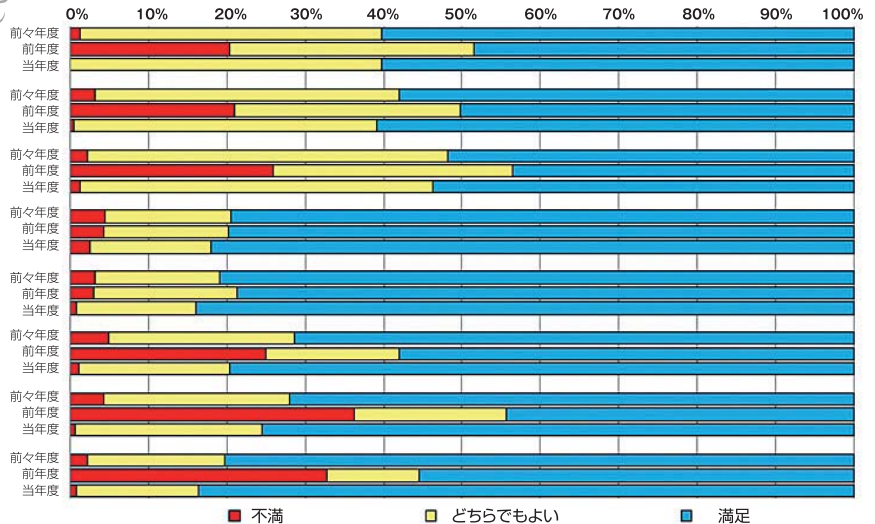
- ①総合受付での待ち時間
- ②診察時間待ち時間
- ③検査待ち時間
- ④診察時間
- ⑤診察後から会計終了までの時間



外来の待ち時間に対する満足度は、平均58.3%であり昨年比6.6%増でした。全体的に若干改善されており、中でも検査の待ち時間が10%改善していました。しかし、診察待ち時間について「悪い」という意見が依然として多く、継続して対策に取り組む必要があると考えます。

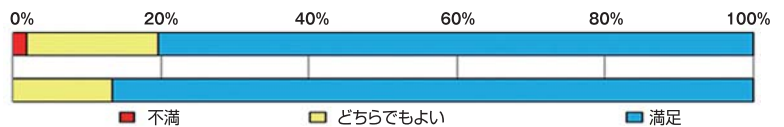
患者さんへの情報提供について

- ① 当院の理念や基本方針
- ② 患者の権利と責務
- ③ 意見箱の回答内容
- ④ 医師の病気や治療に関する説明
- ⑤ 看護師による説明
- ⑥ 放射線技師による説明
- ⑦ 臨床検査技師による説明
- ⑧ リハビリスタッフの説明



「かけはし」や「医療情報センター」の満足度

- ⑨ 院内広報誌「かけはし」の内容
- ⑩ 医療情報センターの利用

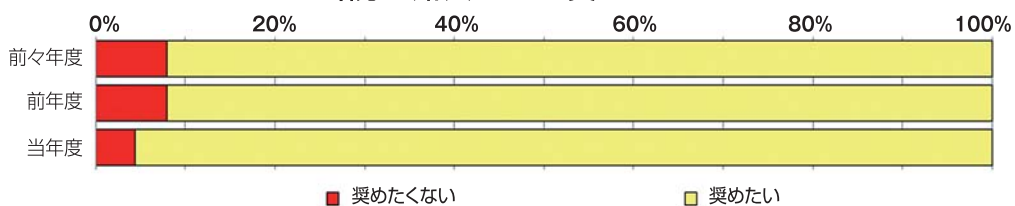


情報提供では全体で72.5%の満足度で前年度と比較すると15.2%増加しています。全項目で改善が見られ、特に「⑦臨床検査技師による説明」が31.1%改善していました。広報誌の認知度が27.5%と昨年同様低く、当院の取り組みをご理解いただくために周知の工夫が必要だと考えます。

病院の印象

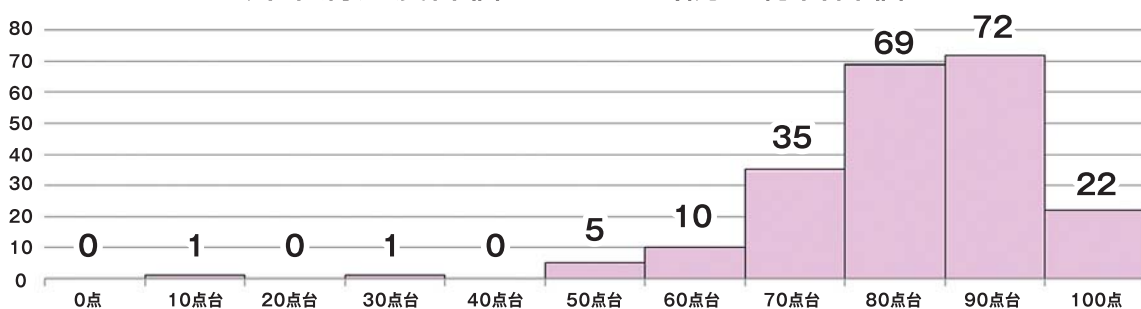
| | 当年度 | | | | | | | | 前年度 | 前々年度 | 前年比 |
|------------|------|------|-----|------|---------|------|-------|-------|------|------|------|
| | 該当なし | 有効回答 | 不満 | やや不満 | どちらでもよい | やや満足 | 最高に満足 | 満足度 | 満足度 | 満足度 | |
| ① 地域における評判 | 42 | 267 | 8 | 0 | 65 | 154 | 40 | 194人 | 66.5 | 69.1 | 6.2 |
| ② 治療の満足度 | 40 | 269 | 3 | 0 | 39 | 127 | 100 | 227人 | 85.2 | 81.6 | -0.8 |
| | | 100 | 1.1 | 0.0 | 14.5 | 47.2 | 37.2 | 84.4% | | | |

当院を知人などに奨めたいか



「地域における評判」は72.7%の満足度であり、前年度に比較すると6.2%増でした。「治療への満足度」は84.4%で前年度比では0.8%減でした。「当院を知人に奨めたいか」については、95.5%が知人に奨めたいと高評価を頂きました。

外来満足度評価における当院の総合評価



当院に対する総合評価の点数は、100点中82.7点であり、95.5%の方より当院を知人に奨めたいとの回答を頂きました。一方で、50点以下の評価も7名の方より頂き、引き続き魅力ある病院づくりへの努力が必要であると考えます。

リハビリの窓 ～転倒転落について～

人間は加齢と共に、筋力低下や歩行障害、視力の衰えなど様々な要因が重なり、バランスを保ちにくくなっていきます。高齢者になるとこれらの要因に加えて、病気や服薬によって転倒リスクがさらに高まり、思わぬ場所で事故が発生することもあります。高齢者やその家族にとって、転倒は寝たきりにつながる重大事故になりかねないため、その危険性を前もって知り、対策をしておくことが大切です。今回は、高齢者の転倒リスクと予防法についてご紹介します。

1 高齢者にとっての転倒の危険性

高齢者にとって過度の安静は、筋力や身体機能の衰えを招き、症状を悪化させる要因にもなります。中でも転倒が原因で起こりやすい大腿骨の骨折は、歩けるようになるまでに時間が掛かるため、そのまま寝たきりになることも少なくありません。骨折やけががなかったとしても、転倒により自信を失ったり、自力で動くことに対して恐怖心を持つたりすると、体を動かさなくなり、筋力が次第に衰え始めて、身体機能の低下を招くこともあります。このように転倒は、高齢者の生活に大きく影響することがあるため、十分な対策を

取る必要があります。

2 高齢者の転倒の原因

●外的要因

自宅内には転倒につながる外的要因が多く潜んでいます。例えば、室内のわずかな段差。歩幅が小さい高齢者にとっては、普通なら段差と認識しない程度のちよつとした敷居でもつまづくことがあります。他にも、滑りやすいフローリング、手すりや設置されていない階段や玄関、浴室などは転倒リスクの高い場所です。転倒を防ぐためには、ベッドや椅子の高さが適切か、廊下や階段、玄関、浴室に手すりが設置されているかなど、生活環境が本人の身体状況に合っているかどうかを確認し、対策を施しましょう。外的要因の場合、環境を整備することで転倒予防につながります。高齢者と同居している家庭であれば、危険な場所の改善は必須課題といえます。

●内的要因

転倒につながる内的要因としては、病気や疾患、加齢による筋力の低下、身体機能の低下が挙げられます。他にも、薬の副作用による足元のふらつきや眠気、意欲の減退なども転倒の原因となります。高齢者は複数の薬を飲んでいたり、体調の変

化を口に出したりしないこともあるので、副作用が出ていないかを周囲が注意しておく必要があります。転倒は、内的要因と外的要因が合わさることで、よりリスクが高まります。転倒を防ぐためには、内的要因・外的要因の両方を減らすことが大切です。

3 高齢者の転倒を防ぐには

●転倒しにくい環境を整える

自宅内での転倒は、安定した歩行や動作ができるように介護用品を活用したり介護リフォームを行ったりすることで予防できます。滑りやすい廊下や浴室に手すりを設置したり、床の段差をなくしたりするだけで、不安定な高齢者のバランスを安定させるのに役立ちます。介護保険を利用すれば、介護リフォームは補助金の対象となりますので、自治体の窓口で相談してみると良いでしょう。

●日頃から筋力とバランス感覚を鍛える

転倒を予防するためには、高齢者の筋力とバランス感覚の低下を防ぐことも大切です。普段から散歩をしたり、ストレッチで柔軟性を高めたりしておくことで転倒予防につながります。その半面、無理な運動や体

操をすると、転倒や骨折につながる場合があります。高齢者の場合は、自宅でできる簡単なトレーニングがおすすめです。

△転倒予防につながる2つのトレーニング▽

(1) 太ももの筋力を強化するトレーニング

① 背もたれから体を起こして腰掛けます。両手は椅子の縁を持ちます。

② 右足の膝を伸ばします。太ももに力を入れて、そのまま5秒維持します。

③ 足をもどし、反対側も同じように行います。



(2) ふくらはぎの筋力を強化するトレーニング

① 椅子やテーブル、壁などに片方の手を添えて体を安定させます。

② 足は肩幅に開きます。両足の踵を高く上げ、その後ゆっくり下ろします。

③ お腹やお尻にも力を入れて、姿勢はまっすぐに保ったまま行います。



(文責：野元)

外来診察表

平成30年8月1日 現在

| 診療科目 | | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 | 土曜日 | |
|----------------------|---|---|---|-------------------------|--------------------------|-------------------------------|------------------------|---------|
| 循環器内科 | 午前 | 安崎 和博 田端 宏之 | 田端 宏之 沖野 秀人 | 福元 大地 沖野 秀人 | 検査日 | 安崎 和博 福元 大地 立石 繁宜 | 予約検査 | |
| | 大石 充 (鹿児島大学心臓血管・高血圧内科学教授) 第3水曜日診察 <small>※都合により第4水曜日になる月もあります。</small> | | | | | | | |
| (一般内科) | 午前 | (安崎・田端) | | (福元・沖野) | | (安崎・福元) | | |
| 心臓血管外科 | 午前 | | 【第2】(熊本中央病院・心臓血管外科医) | | | | | |
| 脳神経内科 | 午前 | 児玉 大介 (鹿児島大学病院) | | | | | | |
| 血液内科 | 午前午後 | | | | 新居 亮彦 (鹿児島大学病院) | | | |
| 眼科 | 午前午後 | | 鹿児島大学・眼科医 | | | | 鹿児島大学・眼科医 | |
| 脳神経外科 | 午前 | 手術日 | 菅田 淳 | 菅田 淳 | 菅田 淳 | 検査日 | 予約検査 | |
| | 午後 | 有田 和徳 | 有田 和徳 | 有田 和徳 | 有田 和徳 | | | |
| 整形外科 | 午前 | 泉 俊彦 坂元 裕一郎 吉井 理一郎 | 手術日 | 坂元 裕一郎 藤善 卓弥 | 手術日 | 泉 俊彦 吉井 理一郎 鹿児島大学・脊椎専門医 | 予約検査 | |
| | 午後 | | | | | | | |
| | リウマチ外来 手の外科外来 | 午前 午後 | | | 恒吉 康弘 恒吉 康弘 (第2・4) | | | |
| 泌尿器科 | 午前 | 古郷 修一郎 岡村 俊介 | 手術日 | 古郷 修一郎 岡村 俊介 | 古郷 修一郎 岡村 俊介 | 古郷 修一郎 岡村 俊介 | 予約検査 | |
| 放射線科 | 午前 | 堀之内 信 | 堀之内 信 | 堀之内 信 | | 堀之内 信 | | |
| 耳鼻咽喉科 (15:30まで受付) | 午前午後 | | 鹿児島大学・耳鼻咽喉科医 | | | 鹿児島大学・耳鼻咽喉科医 | | |
| 消化器病センター | 消化器内科 | 午前 | 紙屋 康之 | | 紙屋 康之 銚之原 基 | 銚之原 基 | 予約検査 | |
| | 消化器外科 (外科) | 午前 | 手術日 | 今村 博 田辺 元 | 手術日 | 今村 博 實 操二 瀬戸山 徹郎 手術日 | | |
| | 化学療法外来 | 午前 | (今村 博) | 實 操二 | (今村 博) | 萩原 貴彦 | 消化器外科医 | |
| | 緩和ケア外来 | 午後 | | 消化器外科医 (16:00~17:00) | | 消化器外科医 (15:00~17:00) | | |
| | セカンドオピニオン外来 | 午後 | | 今村/實 (16:00~16:30) | | | | |
| | 胃カメラ | 午前 | 銚之原 基 | 紙屋/銚之原 | 熊本大学・消化器内科医 | | 紙屋 康之 | 予約検査 |
| | 大腸カメラ | 午後 | 銚之原 基 | 紙屋/銚之原 | 熊本大学・消化器内科医 | | 紙屋 康之 (熊本大学・消化器内科医) | |
| | 肝臓内科 | 午後 | 馬場 芳郎 (鹿児島厚生連病院/肝臓内科部長) 第1・3金曜日診察(受付 13:30~16:30) | | | | | 要予約/要紹介 |
| 乳腺外来 | 午前午後 | 吉中 平次 (鹿児島市立病院/乳腺外科部長) 第4火曜日診察(受付 9:00~16:00) | | | | | 要予約/要紹介 | |

※各診療科・担当医の診察日を確認の上、「地域医療連携室」を通して御紹介下さい。(要予約・要紹介) ※ただし急患はこの限りではありません。
 ※一般内科は循環器内科と併用の診察となる為、待ち時間が長くなる場合がございます。
 ※消化器病センターのみセカンドオピニオン外来を設置、他科については通常外来の時間帯に随時対応。

整形外科医師



ふじよし たくや
藤善 卓弥 鹿児島県出身

少しでも地域の医療に貢献できるよう
頑張ります。



8、9月の 出水郡医師会 日曜祭日当番医

変更になる場合がございますので、受診される前に医療機関にお問い合わせ下さい。



| 月日 | 出水市 | 阿久根市 | 長島町 |
|----------|--|--|---------------------|
| 8月 5日(日) | さくら通りクリニック TEL 62-2311 わかずぎ皮膚科クリニック TEL 64-1313 | 北国医院 TEL 72-0016 | 長島クリニック TEL 88-6405 |
| 11日(土) | 福元医院 TEL 67-3200 恒吉医院 TEL 82-0048 | 阿久根眼科 TEL 72-0040 | 平尾診療所 TEL 88-2595 |
| 12日(日) | 整形外科ばぐちクリニック TEL 64-8260 しもぞのクリニック TEL 63-8300 | 林胃腸科外科 TEL 73-3639 | 鷹巣診療所 TEL 86-0054 |
| 19日(日) | 出水病院 TEL 62-0419 こどもクリニック永松 TEL 64-1500 | 植村整形外科 TEL 72-1041 脇本病院 TEL 75-2121 | 鷹巣診療所 TEL 86-0054 |
| 26日(日) | 出水眼科 TEL 62-8350 境田医院 TEL 67-2600 | 有村産婦人科・内科 TEL 73-4180 | 長島クリニック TEL 88-6405 |
| 9月 2日(日) | 二宮医院 TEL 62-0167 福永内科循環器科 TEL 62-8200 | 上園医院 TEL 73-1055 | 平尾診療所 TEL 88-2595 |
| 9日(日) | よした泌尿器科クリニック TEL 63-7800 キッズクリニック TEL 63-7707 | 内山病院 TEL 73-1551 | 鷹巣診療所 TEL 86-0054 |

病院ボランティア募集

出水郡医師会広域医療センターでは、患者さんの生活の質の向上、地域の人々への病院理解、病院職員への啓蒙などを目的としてボランティアを募集しています。

活動内容

- 1 身の回りのお世話
花を生ける・水を替える、箸・湯のみの洗浄、下膳、お茶くみ、食事介助、洗濯、買い物、洗髪、入浴介助、床頭台の清掃、ゴミ捨て
- 2 話し相手
筆談、手話、本を読む等
- 3 その他
院内の案内、散歩に連れて行く、ベッドの移動、荷物の搬送、清拭タオルのローリング、草刈、花壇の整備等

(応募お問い合わせ)

出水郡医師会広域医療センター

総務課まで

TEL 73-13331
(内線 371・374)

※どうぞお気軽にお問い合わせください。

医療機能情報提供について

当院の病院機能やサービスについて県に報告したデータをもとに鹿児島県ホームページにて公開されております。閲覧も可能となっております。また、同内容を1階医療情報センター内で自由に閲覧できるよう冊子を配置しております。

鹿児島県ホームページ <http://www.pref.kagoshima.jp/>

お知らせ

意見箱について

当院では、総合受付、各病棟の患者食堂など院内8カ所に意見箱を設置しております。当院へのご意見・ご要望などをお寄せ下さい。なお、回答・検討・改善事項を各フロアの掲示板に掲載しておりますのでよろしくお願い致します。



編集後記

今年も大雨による河川の氾濫や土砂崩れにより西日本各地に甚大な被害をもたらしました。これからも台風や大雨等、自然災害に注意し、万一に備え避難場所等を確認しておいてください。また、これから暑い夏がやってきます。体調管理に注意し、熱中症などに気を付けてお過ごしください。

ここで一句 「雨上がり 田んぼにポツリ 雨蛙」

(吉野)